



令和4年度 幼稚園関係者評価 概要

園長の経営計画を受け、教育課程を編成し、コロナ禍であっても全教職員が一丸となって実践を積み重ねてきました。今年度の取組については、教職員も評議員、保護者と同様のアンケートを実施し、それも参考にしながら教員による自己評価を行いました。評議員会においていただいた意見やアンケート結果を含め、総合的に分析・考察し、改善の必要な点について明らかにし、次年度の教育課程の編成に生かしていきます。

今年度も、新型コロナウイルス感染症と対峙しながら少しずつできることを増やしていく園運営でした。保護者アンケートは「がくぷり」で実施し、回収率は93.2%でした。

A評価が90%を越えるものは1項目、80%台が10項目、70%台が5項目でした。A、Bを合わせるとほとんどの項目が95%以上でした。小中学校との交流、未就園児の会、異年齢の交流、地域の特性を生かした活動などについては、A評価が50～60%台と他に比べると厳しい評価となっていますが、コロナ禍では致し方ない部分も多いと思っています。園内では、行事ごとの反省の他に教職員も同様のアンケートと一年間の教育活動全般について振り返る協議も実施しました。それらの評価や次年度の方向性も含めて概要をお伝えします。

<幼稚園運営について>

- ★コロナの制限が緩和されつつありますが、コロナや園の状況が変わっても、幼稚園教育で大切にすることは変わりません。どんな状況でも、その中でできること、すべきことを工夫して園運営を充実させていきます。来年度の登園に関しては、学年ごとに時差をつけることはせず、8:45から9:00までの15分間とする予定です。
- ★保護者向けの配信に関しては、今年度は「がくぷり」をPTA会費で運用しています。3学期は、区費で運用している「コドモン」と併用し、使い勝手などを比較して検討しており、今後PTAと相談して、来年度の運用について決定していきます。
- ★ホームページやTwitterでの発信については、特に写真は個人情報などの関係から、細心の注意を払いながら、幼稚園の教育内容やPRの発信に努力しています。園周辺の掲示板や保護者の皆さんからの口コミなど、アナログな発信の効果も大きいものと再確認しています。園児募集ポスターの掲示などについても、一層のご協力をお願いします。
- ★来年度は、保育参加の機会を設け、親子で活動に取り組んだり、他の親子の様子を見たりするなど、体験を共有することで子育ての振り返りや幼稚園教育の理解につなげたいと思います。幼稚園説明会の回数も増やします。また、保護者会の他に、保護者との相互的なコミュニケーションの場を設けたり、青南小学校と合同での学校運営協議会を設置し、保護者や地域の皆さんと共に子どもたちを育て、私たち大人も育つことができればと思います。
- ★小中学校や地域との交流に関しては、制限がある中でも地域の教員同士の研究は進められ、10月には小学生との直接の交流は実現でき、2月には年長組が1年生との交流を通して小学校の生活を体験させてもらえることになりました。中学生の職場体験は実施できました。保育実習は残念ながら急遽中止となりましたが、後日、中学生のメッセージ動画と模造紙いっぱいのできるメッセージを届けてもらいました。小学校での給食体験は叶いませんでしたが、引き続き、連携を深めつつ、可能な交流を進めていきます。
- ★PTA活動については、いつも「できることを無理せず楽しく、思いやりの心をもって」の精神で取り組んでいきたいと思います。コロナ禍でしばらく実施できていない活動もあり、同じ事柄に対しても、立場や状況によっても、受け止め方や感じ方は一様ではないことを感じています。そのことを前提にしつつ、園児数や職員数などの変化も踏まえて、保護者と幼稚園とで一緒に子どもたちを育てていきたいと思っています。そのためにも、日頃から保護者の皆さんの声を聞かせていただければと思います。お気軽にお声掛けください。

<教育内容・指導について>

- ★幼稚園の教育活動はチームで行うものです。全教職員で子どもたちのことを情報共有しながら、よりよい指導ができるよう心掛けています。
- ★自然との関わりは、アンケート項目の中でもA評価が94.2%と一番高く評価していただきました。研究テーマにしていた内容でもあり、青南幼稚園の誇れる魅力であり、子どもも大人も様々な体験ができたことは有り難いことでした。評議員会でもこの点は改めて高く評価していただきました。
- ★今年も様々な栽培活動や園庭の果樹の収穫を行いました。研究の一環として、年少、年中組の親子栽培を年度途中から試行しました。時期やスペースなどの関係もあり、残念ながら年長組は経験することはできませんでした。年長組は、1月の参観を親子活動にして、親子で鬼のお面を作る活動を実施することができました。いずれも、親子で一緒に活動し、体験を共有することで親子共に得られるものが大きいことを実感することができました。来年度は、この成果を生かした取組を充実させていければと思っています。
- ★自然物との関わりは、絵に描いたり数を数えたりする活動など、多岐にわたりますが、毎年同じことをするとは限りません。そのときの子どもの興味関心や教師自身の経験年数なども踏まえて、子どもたちに経験させたい内容を吟味して、その年や子どもたちにふさわしい活動を選択していきます。飼育物の世話などは、2学期には思うようにできていなかったので、3学期はしっかりと行い、思いやりの心も育てていきたいと思えます。
- ★行事については、開催方法や内容など各家庭によって多様な受け止め方があったことが分かりました。行事にはそれぞれ大事な意味や価値があり、普段の遊びや生活からの延長線上に位置付け、みんなでコツコツと積み重ねてきた節目として晴れの日を迎えるようにしています。行事に向けて取り組み始めている中では、できれば休まずに登園していただければと思います。ご理解ご協力をお願いします。
- ★来年度は学級数の変化やコロナとの共生も踏まえ、数年実施できていなかった1学期の親子遠足を復活させたいと思っています。青南まつりや運動会、もちつきも現時点では今年度と同じような形で開催し、地域の未就園児親子の参加も復活できればと思っています。
- ★保護者や評議員の皆さんに、幼児教育の重要性を共感していただき、日々の指導や対応などについて感謝の気持ちを伝えていただき、充実感ややりがいを感じることができています。ありがとうございます。子どもたちの育ちは一朝一夕にはいきません。3年間という長いスパンで考えながら、日々の活動を通して子どもたちの育ちを支えています。引き続き、幼児期にふさわしい教育を大事にした指導を心掛けていきます。

<安心・安全について>

- ★安全と安心は、何よりも大事な基本となりますので、引き続き、丁寧に環境整備などを行っていきます。それでも、引き続き保護者の皆様のご協力をお願いします。
- ★夏休み中に1階保育室の床の張り替え、秋には園庭の土留めの丸太の改修などを行いました。年度末の春休み中には、1、2階保育室の壁面の張り替えと園庭奥のクライミングネットを外してボルダリングの設置工事を行う予定です。ボルダリングは、コロナ禍における運動不足解消などを狙って、港区内全幼稚園、小中学校に設置されることになったものです。
- ★新型コロナウイルス感染症への対策は、保育者の皆さんの協力により、マスクの着用、健康カードへの記録と提示などが定着し、大変感謝しています。

<青南ならではの地域性を生かした保育について>

- ★子育てサポート保育は、年少組の年間利用もできるようになり、利用者も増えてきています。来年度は、港区全園で時間の延長などを検討しています。決定し次第お知らせしますので、有効にご利用ください。
- ★未就園児の会は、内容を充実させ、PRにも努力しましたが、利用者が増えずに残念でした。近隣の乳幼児人口の減少や子育て関連施設の充実なども要因と考えられます。コロナに関する規制も緩和される中で、来年度は幼稚園の強みを生かして、可能な限り園児の様子を直接見たり、園児と交流したりする機会を増やしていきたいと思えます。